

広がる支援の輪

モノづくりで被災地支援

—東京都大田区

大田区は、23区一の製造業事業所数を誇るモノづくりの街で、暮らしの中に町工場がなじんでいる。地価や人件費の高騰を受けて区外への工場進出が進み、約200社の



区内企業が東北や北関東に拠点を構えている。東日本大震災では多様な支援活動が見られた。「モノづくりの技術で被災地支援に生かす」(松原忠義大田区長)。

現在で2816人を数える。区では震災発生直後から、宮城県への要請を受け、津波で甚大な被害を受けた東松島市へボランティア派遣を続けてきた。現地にはいたボランティアの総数は、9月末

業が一人でもできる器具で、区内の町工場、ホワイテクニカが製造を担う。費用は区に寄せられ、作業できる人が省ける。ボランティアから相談を受けたホワイテクニカが設計し、鉄棒を溶接して製作した。軽量で重ねて持ち運びができるメリットもある。

津波の汚泥をかき出す際に、土のう袋を立てる。スタンドを使い、一人で作業できる。土のう袋を立てる。スタンドを使い、一人で作業できる。土のう袋を立てる。スタンドを使い、一人で作業できる。

土のうスタンド「大田の輪」と松原忠義大田区長

被災地の産業復興

—モノづくり中小企業

工作機械商社のコトブキ(東京都大田区)は、震災の発生直後から対応に忙殺された。

「被災地への出張が続き、2カ月間、ロクに自宅

に帰れなかった」と馬場均社長は振り返る。津波の被害を受けた東北の工場には製造に必要な機械が足りなかった。作業を一刻も早く再開しなければ、顧客が離れてしまう。被災企業の要請を受け、コトブキは汎用旋盤や顕微鏡、卓上ボール盤など、すぐ必要になる中古機械を、義援金を添えて被災企業に持ちこんだ。被災企業には3割引きが基本で、無償で提供したものもある。

「在庫はあつた」という間になくなり、大阪や広島まで探しにいった(馬場社長)。

工業が縁で義援金を持参

—大田工業連合会

約1000社の中小企業が加盟する大田工業連合会(大田工業連合会)は、岩手県釜石市に400万円の義援金を寄付した。新日鉄釜石製鉄所を中核に、工業の街として知られる釜石市は、震災前から大田区と交流を続けてきた。

大田工業連合会の舟久保利明会長(昭和製作所社長)は、「困ったときはお互いさま。津波で工場が流された」と聞いて、人がこたへとも思えなかつた」と支援の理由を語る。現地を視察した舟久保会長は、津波の被害の

世界から大田へ 大田から未来へ

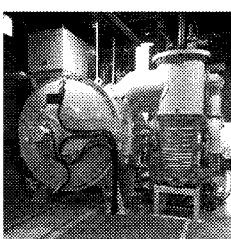
地域と企業の発展をめざします

東京商工会議所 大田支部

東京都大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ5階
TEL 03-3734-1621 FAX 03-3731-9801 www.tokyo-cci.or.jp/ota

金属熱処理 技術・技能のスペシャリスト集団！ 航空機部品の熱処理もお任せ下さい！

創業以来「お客様の製造ラインの一部門たれ」をモットーに、鋼に魂を入れる作業を続けてまいりました。2名の現代の名工を筆頭に、長年の経験と有する多くの優れた熟練工と技術者を擁し、「難しい熱処理は上島に頼め」と評判の会社です。新規に航空機部品の熱処理を始めました。JIS Q 9100の認証は取得済みで、Nadcapの認証も近日中に取得予定です。
10月26日～28日 東京国際航空宇宙産業展2011に出展します(於：東京ビッグサイト)



航空機部品対応真空炉

■営業品目
1. 金属熱処理加工 (塩浴・真空)：焼入焼戻し(高速度工具鋼を主とした工具鋼・マルテンサイト系ステンレス鋼)・固溶化(溶体化)・時効処理(鉄鋼材料、アルミ合金)・サブゼロ処理・クワイオ処理 2. 表面改質処理：PVD処理・ガス軟窒化・ホモ処理・WPC処理 3. 摩擦圧接加工 4. 精密熱処理テスト

株式会社上島熱処理工業所
〒146-0081 東京都大田区仲池上2-23-13
TEL: 03-3753-7788 (代) FAX: 03-3751-5684
URL: http://www.kamijima.co.jp E-mail: info@kamijima.co.jp

NAMBU

HYDRAULIC CYLINDERS

QSシリンダ

サイクルタイム短縮！

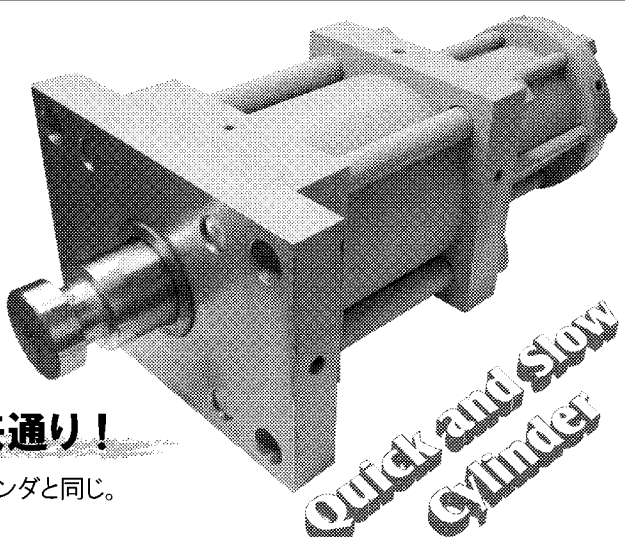
ダイカスト分野では中子を引き抜く時の最初の離型には大きな力が必要ですが、離型をしてしまえば大きな力は必要ありません。QSシリンダは大径・小径の2段になっており、離型時には大径シリンダで引き抜き、離型後は自動的に小径シリンダを使用しますのでサイクルタイムを短縮できます。

環境にやさしい！

必要時以外は小径シリンダを使用するため、作動油の使用量を抑える事ができ、エネルギーを大幅に削減できます。

EASY 配管は従来通り！

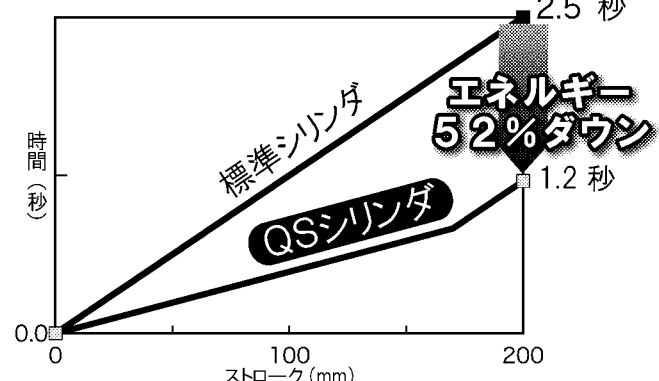
油圧配管接続は単体シリンダと同じ。すぐにでも導入できます。



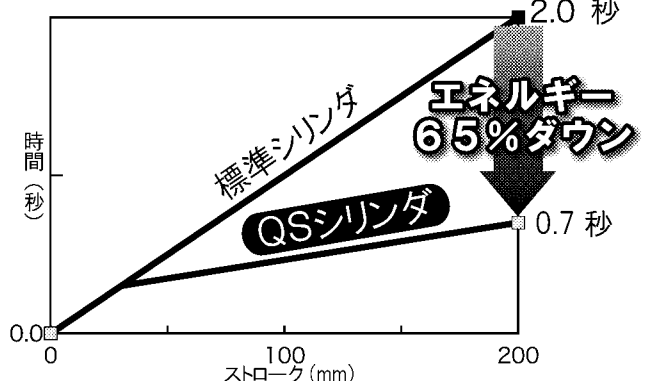
Quick and slow cylinder

※1 ポンプ吐出量を150L/min(2500cm³/sec)と仮定した場合。 ※2 上記値は抵抗・圧損等を考慮していない理論値です。

【中子前進動作】



【中子後退動作】



特殊油圧シリンダ設計・製作・販売

株式会社 南武

本社 〒144-0047 東京都大田区板橋3-14-18

TEL: 03(3742)7377 (代)

FAX: 03(3745)1021

E-mail: eigo@nambu-cyl.co.jp

URL: http://www.nambu-cyl.co.jp

ISO 9001:2008 認証取得

ISO 14001:2004 認証取得

本社工場

ひろがるジオマテックのテクノロジー

暮らしの中に、夢の中に、ジオマテックの技術が息づいています。



太陽電池の未来をサポート。

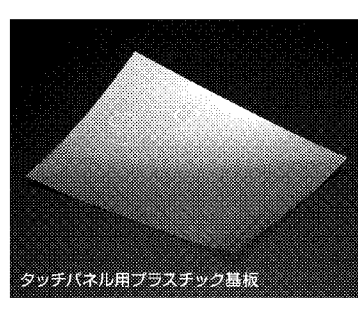
再生可能エネルギー関連の製品・市場への関心が高まる中、低コストの太陽電池として、現在大きな期待を集めているのが「色素増感型太陽電池」です。ジオマテックの開発品「高耐久性透明導電膜」は、優れた耐熱性で500℃の焼成にも抵抗値変化を起こしません。

多彩なディスプレイを実現するジオマテックのテクノロジー。

薄型軽量、高精細を実現したLCD、より省エネを実現したOLEDなど、革新的な進化を続けるディスプレイ。ジオマテックでは、これらのディスプレイに不可欠な透明導電膜に要求される導電性や透明性、平坦性を実現しています。

ジオマテックは薄膜・加工技術のプロフェッショナルとして、その企業使命を果たして参りました。この技術は、当社の主力であるディスプレイ事業から、あらゆる「ものづくり」へ用途を広げております。単品試作から量産まで、様々なニーズにお応えします。

取扱品目 ■タッチパネル用基板 ■光学機器用部品 ■マスクブランクス ■FPD/液晶・OLED用基板 ■その他真空成膜製品 ■太陽電池部材 ■測定サービス



タッチパネル用プラスチック基板

ジオマテック株式会社

本社: 〒220-8109 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー9F

TEL: 045-222-5721 FAX: 045-222-5731

資料請求・お問い合わせは

mail: geomatec@geomatec.co.jp

web: http://www.geomatec.co.jp